

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	72	事業名	保健衛生普及事業		担当部課	福祉部保険医療課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	国民健康保険特別会計	
	法定受託事務の有無	無				予算区分(款－項－目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	データヘルス計画、国民健康保険法、地域福祉計画			5-1-1 保健衛生普及費	
	事業開始の背景、経緯等	国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。					
	市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。 ・糖尿病重症化予防事業 ・ウォーキング教室事業 ・医療費通知 ・後発医薬品差額通知 ・医療機関受診勧奨通知
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(国民健康保険被保険者)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自分の身体を自分で管理するセルフケア能力を高めて、健康寿命を延ばす。

コスト推移	項目	単位	区分	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
	事業費(A)	千円	予算	6,217	6,428	8,090	14,310	18,568
			決算	3,765	4,811	7,136	10,570	
	人件費(B)	千円	決算	3,958	3,009	3,063	6,538	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	7,723	7,820	10,199	17,108	
→ 事業対象の数(D) (R3年度は想定数)		人		9,535	9,239	8,955	8,685	8,748
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値		千円		1.23	1.03	0.93	1.32	

成果 推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
	生活習慣の改善意欲がある人の割合	%	目標	62.0	62.0	62.5	63.5	64.0
			実績	59.7	67.1	66.7	71.0	
	(指標の設定根拠)				(数値目標の根拠)			
	保健事業の実施効果を見るために、生活習慣の改善意欲(健診時)がある人の割合を成果指標とする。				特定健康診断質問項目の中で、生活習慣の改善について、「改善意欲あり」以上の回答をした人数。 目標値は総合計画、データヘルス計画と整合している。			
	(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)								

これまでの振り返り	目標達成状況 ・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 今年度から教室を委託事業にし、講師や種目を前年度までと変更したところ、これまで継続して受講していたが、受講しなくなった参加者が多かった。新規で参加申込があった者のほとんどは70歳以上であり、若い世代で意識を持った人が少ないと考えられる。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ウォーキング教室では、福祉の家開催時の参加者が教室後に一緒に温泉に入ろうと話していたなど、人との関わりの機会になっていた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) ウォーキング教室については長寿課の地域いきいき事業と統合して実施することで、業務の効率化を図るとともに新たな参加者を増やしていく。

事業を構成する事務事業①	事務事業①		健康づくり教室事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1)	健康づくり教室の新規登録者数	人	見込	30	30	30	30	30
				実績	19				
	(2)	【アクションプラン】 教室延べ参加者数	人	見込	980	990	1,000	1,010	1,020
				実績	130				
	(3)			見込					
				実績					
	<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ウォーキング教室 12回(10月～3月) (令和2年度からこれまで実施していた毎日コツコツ健康づくり教室を長寿課に移管した)							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②		重症化予防事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1)	【アクションプラン】 健康リスクの高い人のうち、医療機関未受診者の割合	%	見込	1.6	1.4	1.2	1.0	1.0
				実績	1.2				
	(2)	医療機関未受診勧奨発送割合 (%) (発送者/対象者)	%	見込	100	100	100	100	100
				実績	100				
	(3)			見込					
				実績					
	<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 健診結果から基準値を超えた者に対して、医療機関受診勧奨通知を送付や、面談/電話による保健指導を実施した。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③

事務事業③									
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
			実績						
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性		

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 令和3年度から、健診結果やレセプトデータを基に数年以内に人工透析や虚血性心疾患のリスクがある者に対して、専門医や薬剤師・栄養士などによる個別の保健指導を行う。
	中長期の目標	(いっごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 2023年(データヘルス計画第2期最終年度)被保険者それぞれの健康状態にあわせ、リスクが高い人には個人に適したアプローチを、健康な人には現状を維持できるような健康意欲が向上するアプローチをする等、対象者に適した事業を整備する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・重症化予防事業などについては、交付金などを活用しつつ、事業効果の検証を行いながら実施してください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、重症化予防事業の効果的かつ効率的な実施に努めてください。
	内部意見への回答	